



変態マスターと
欠点のない

余

DOUJIN
R \ddagger 18
Adult
Only

Fate/Grand Order Fanbook
2018 SUMMER



目覚めると…

おはよう
Buon giorno…
マスター…!

朝日のように眩しい笑顔が
俺にむけられて…

…ネロ?



変態マスターと欠点のない余

余の玉音で眠りから
覚めたこの瞬間が

今日一日で最も
素晴らしい
時間であろう

しかも最初に目にするのが
余のこの珍しい格好

さらに貴様が大好きな
ツインテール!

今日のマスターは最高の
ラツ・キー・ポー・イだぞ☆

うむっ!

今日の運勢かよ!?

どうだろ
マスター

最近寝付きが
悪い...

余のこの格好
いいだろオオ!

せっかく...

十分夏っぽい
であろう!

会話の
ドッジボールだ!!

うむっ!
余の美貌に驚愕のあまり
言葉も出ないようだな

マスターの
こういうところ
嫌いではないぞ☆

一応確認しておくが
ここは俺の部屋で
間違いないよな?

この山積みのはらは
どういうことだ...

昨日は
なかつたはずだが

えっ!
余の美意識で改装させたのだ
余の風格に相応しいであろう!

あ...うん...
お前のフーカクに
ピッタリだな...
(いろんな意味で)

細かいことはよい

それよりもっと
大事なことがあるであろう

例えば 貴様の目の前の
余のこの姿に
何か賛美はないのか？

賛美が
デフォルトなのか…

えっと…キレイだよ
とても似合ってる

上に羽織ってるけど
これは水着だよな？

そうだ☆

海に着いたら
見せるんじゃないか？

明後日行く
予定なんだろう？

せっかくの新礼装だぞ！

海へ行く日
までが遠すぎる！

もう
待ちきれぬ！

そしてマスターも
余と同じ気持ちで

余の新礼装が
待ちきれないであろう

そ、そうだな…

つまり俺にいち早く
自分の水着を見せたいって
ことだな

なるほど こいつにも意外と
可愛いところが あるじゃねえか

マスターの反応が…
なんというか…

温度差が…

い、いや違う
俺はネロが…

つ・か・ま・え・た☆

あーあー☆
そういうことか

コレがマスターが口に
出せなかった本音かア?

確かにこれは口に
出しにくい悩みだな♥

余の水着姿を見ただけで興奮してしまうとは

言いたくはないがマスターは相当の変態だ

びー...

言ってるじゃねえかー!

いやいやいや!!
これは正常な生・理・現・象・で!!

水着を見たから勃起したわけじゃない...
男がみんな朝起きたら

あ...朝勃ち!!
朝勃ちだー!!

井解すればするほど信用できぬ

ちーがー!

貴様のせいではない

おい!
何を...

ああ、
美しすぎる余が罪か?

あーん

マスターのサーヴァントたる余がきちんと役割を果たすから

マジか...!?

正変態なマスターを軽蔑なぞせぬぞ

!!



マスターの外見には
似つかわしくない
凶器を持っておるな

待て…ネロ…

唾えられるこの感じ…
気持ちよすぎる…



ぐわんぐわん

肉棒が小さな
口の中に擦り付け

こんな…

やめろ…

舌の感触も…
ノドの感触も…
全部…

気持ちよすぎて
腰の力が抜けてしまう



口ではそう言うが
貴様の肉棒は余の口の中で
ビクビクと脈動しておるぞ

マスターとしてサーヴァントと
こんなことをしては
いけないとわかってるのに…

両手は自由なのだから
本気で拒むのなら…

余を振り払う事もできるし
右手のあの赤い魔力の結晶を
使うこともできる
…そうだろうか？

その通りだが、
ただ…

ぐわんぐわん



欲望に屈した自分が
恥ずかしいか…?

はっ

はっ

ぐう…!



どちらも選ばず

ただ悔しそうな
眼差しを晒す…

はっ

はっ

ぐう ぐう



受け入れてしまえば
良いのだ

時に快楽に
身を委ねることもまた
人生だとは思わぬか
マスター?

ぐう

はっ



こういうべきか

目前の美しい風景を
愛でる方が良いでしょう!

パパパ…パイズリ!?

遙か彼方の道標に
目を凝らすより

はっ ぐう



マスターが
迷わぬように

これから余の胸器で
膨れ上がった肉棒の中の魔力を
絞り出してやろう♪

ずっとしりとした胸が
のしかかってくる

なんて強烈な圧迫感だ…



うも…
マスターの熱が…
脈動が…
高ぶってくるな…♡

もう耐えられないのか？



うせうせっ！
先っぽからナニかが
漏れ出てるぞ☆

啊…!!

ぐわわわわ

ベタバタグチャグチャヤッ
けしからん...

うむ...
これ以上出ないなら
吸うしかないな

えっ...!?

唾液と我慢汁で
ぐちょぐちょになった肉棒が

ネロの純白な胸に
擦り付けている

ぐわわ

ぐわわ

ぐわわ

や、これは
ダメ...

いや...

ネロ...

一方はベタバタする舌に
先っぽを刺激され

一方は柔らかい胸に
包まれ

両方から攻められると—

お...俺も...

ぐわわ

ぐわわ

ぐわわ

ぐわわ



まで！
ここまでにするか

悪ふざけが過ぎた
余は着替えてくる…



…と言いた
ころだが

見たところ貴様の興奮は
まったく収まっておらぬな



ピン

ピン



…い

いく…な…



うむ…
朝勃ちというものは…
そんなに続くのか…？

ではまた会おうぞ…
マスター



今の今まで自分自身を
直視できなかった俺が

あれでお前を従わせるなんて
あまりにも不甲斐ない田

……



ほお〜？
令呪を
以て命じぬのか？

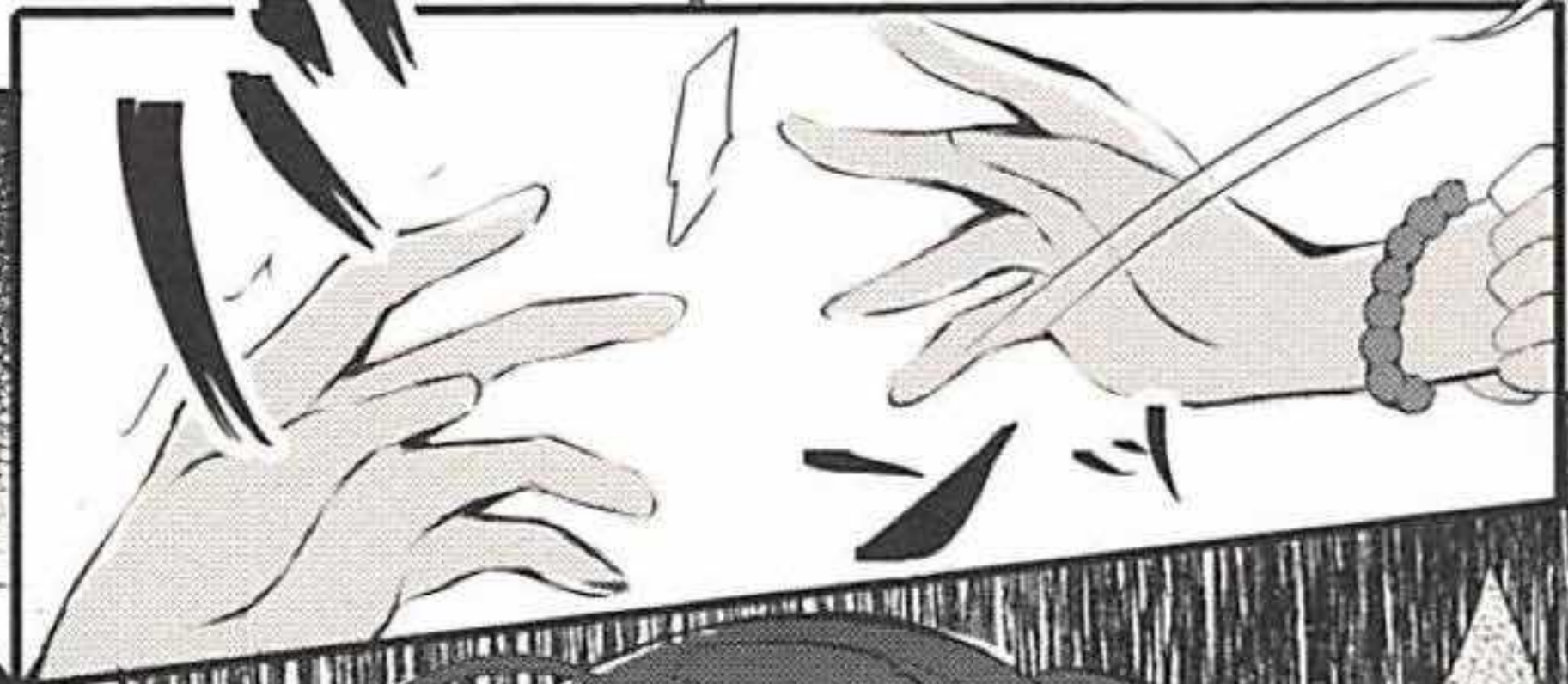
それでは 余に拒否する
権利があることを
貴様は知っておろう



だから
令呪は使わない！

お前に
行かないで欲しい

お…俺は—



マスターよ、貴様は
成功率の最も低い方法を
選んだのだ!

やはりダメか…

うん…

つまらん虚勢を張りおいて
それで皇帝の心を
動かせると思うのか?

可笑的い!
可笑しすぎる!!

ははははは!



うむう…
Emperor
皇帝としても…
Servant
従者としても…

貴様の話は聞けぬ

だが…



このような言葉で
女の心を動かすのは

充分ではあるがな—



ネロ…

シヤ…



七ひび

これからは貴様の好きなやり方で続けるいい…

余のマスター…

床に散りばめた赤い花びらの中にある

水着は…脱がなくてもいいのか？

俺一人だけの、煌く黄金のパラ

せっかく着たからこれでいい

マスターはこういうのが好きなのだ…なかなか変態ではないか

ちよっ…このくらいいいだろ！

お前の変態の基準が一般人より低くないか！

マスターがそういう真面目な性格だから思わずイジワルしたくなっただけだ

ふふふん 冗談だ☆

くそ…



え…?

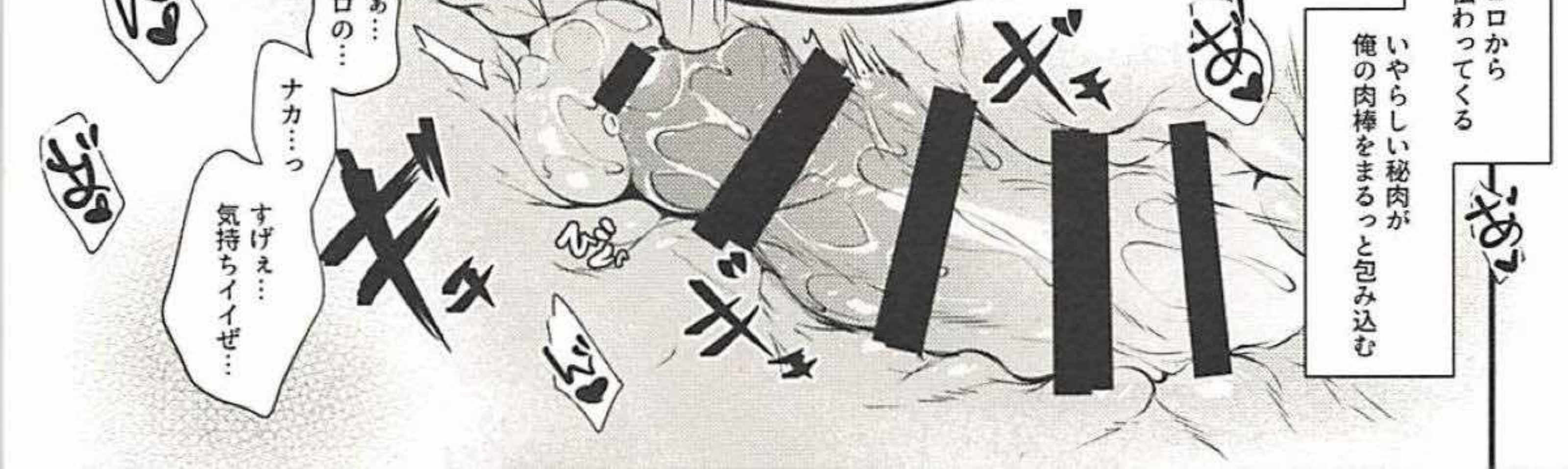
じゃあ次は俺から
イジワルする番だな



マスター…

これえ…
ズルいぞ…♡♡

ぐんぐん…



繋がってるトコロから
灼熱の体温が伝わってくる

いやらしい秘肉が
俺の肉棒をまるっと包み込む

はあ…
ネロの…

ナカ…っ

すげえ…
気持ちイイぜ…

ネロ…

ネロオ…

本当に…
最高だ…っ

抜き出す時でさえ
秘肉がぎゅうと肉棒を
吸い付けてくる…

貴様もまた…

余の魅力に…
抗えな…あ…
ああん…♡

これじゃあもつと奥深くまで
突き挿れたくなる

言うまでも…
なからう…

よ…余は
王であるぞ…

無論…
所有するのは…

誰にも劣らぬ…
高貴な名器だ…

こんな表情を見せつけてりや
どんなに豪語しても全く説得力がない





それなのに…
余計に心が動く

そうだな、俺はもう
お前に囚われた…

何しろ…
ネロは可愛いからなあ

イジワルするところも
自信満々な様子も
恥ずかしがる姿も

全部全部可愛い
とっても可愛い

可愛くねえところは
一つもない



なっ…

か…
カワイイ…!?

げぬ

よ…
こんなふわふわな言葉で…
余を称えるのに使う言葉は
もっと…ひやああつ!?

いきなりくるなっ…

あつあつ



俺だけのネロ!
Emperor

ネロは本当に
可愛いから
眩しいほどの可愛さだ

そんなことない!

オリンピアの花!

俺だけの...

もういっつな...
余があ...

撞して...しまっつ...
あんっ...♡

ま...すたあ...
はあ...♡♡



数日後



END

■セイバー・ブライド
ツイッターに上げた時のタイトルが「0.7%の奇跡」w



■あしがき

友人と一緒にFGOを始めたときは、ちょうどネロ祭の復刻で、
ネロがあの時引いた最初の☆5でした。
☆4ネロさえ引ければ満足だと思ったり、
いきなり☆5のブライドネロが来てくれて本当に嬉しかったです。

その記念ではあるんですが…
夏の雰囲気(笑)を出したくて、
好みで水着に変えたりツインテールにしたりしました。
~~本の中ならそう簡単に着替えさせられるのに…現実ではそう甘くはない~~

Fateの伝統(?)に則って、大量の注釈ルビを入れてみましたが
ネロのセリフと同じくらい悩まされました…

最初は軽い気持ちでギャグものを考えていたんですが、
途中からストーリーがキャラクターと共に勝手に動き出した…
まあこれでもいいかと描き続けて、
こんなイチャラブコメディになりました…とさ。

